

# 平成19年度普通会計決算報告

## 20億8,971万円の使いみち

平成19年度普通会計決算状況 (総務省地方財政状況調査より)

### 1. 総 括

- 決算規模は、2,089,710千円となり、前年度比△7.8%となった。
- 実質収支・単年度収支・実質単年度収支も黒字となった。

### 2. 歳 入

歳入合計では、前年度と比較して150,369千円 (△6.6%) の減となった。主な要因としては、統合保育所整備事業補助金△31,018千円、過疎対策事業債 (統合保育所整備事業債) △104,300千円があげられる。

一方、普通交付税は40,047千円の増、特別交付税は△3,719千円、臨時財政対策債は△7,400千円となった。

### 3. 歳 出

#### (1)目的別歳出

目的別歳出の主な内訳は、総務費17.3%、民生費17.7%、衛生費16.4%、農林水産業費10.3%、土木費3.2%、消防費3.7%、教育費7.9%、公債費18.3%となっている。

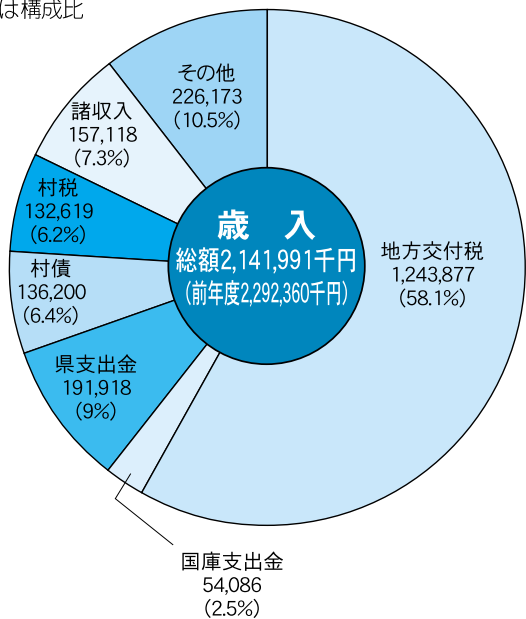
また、主な増減としては、民生費が△117,231千円 (△24.1%)、総務費が38,073千円 (11.8%) の増、公債費が△27,438千円 (△6.7%)、商工費が△14,749千円 (△19.9%)、土木費が△12,984千円 (△16.4%)、議会費が△11,574千円 (△19.5%) となった。

#### (2)性質別歳出

義務的経費では、公債費が一般廃棄物処理施設整備事業債の完済等により△27,438千円 (△6.7%) となった。

物件費では、後期高齢者医療制度関係システム開発委託料等により28,149千円 (10.0%) の増となった。普通建設事業費は、統合保育所整備事業の減等により△177,317千円 (△56.8%) となった。

(単位：千円)  
( ) 内は構成比



### ☆決算収支の状況

(単位：千円)

| 区 分                     | 歳入総額(A)             | 歳出総額(B)                        | 歳入歳出<br>差 引 額<br>(A)-(B) (C) |
|-------------------------|---------------------|--------------------------------|------------------------------|
| 平成18年度                  | 2,292,360           | 2,266,972                      | 25,388                       |
| 平成19年度                  | 2,141,991           | 2,089,710                      | 52,281                       |
| 翌年度に繰り<br>越すべき財源<br>(D) | 実質収支<br>(C)-(D) (E) | 単年度収支<br>(F)                   | 積立金<br>(G)                   |
| 3,603                   | 21,785              | △ 35,899                       | 18                           |
| 1,111                   | 51,170              | 29,385                         | 8                            |
| 繰上償還金<br>(H)            | 積立金<br>取崩額<br>(I)   | 実質単年度収支<br>(F)+(G)+(H)-(I) (J) |                              |
|                         | 39,000              | △ 74,881                       |                              |
| 18                      |                     | 29,411                         |                              |